

な お み

理念

安全・信頼・連携・地域密着
私たちは、地域に密着した病院として、他の医療機関や関係の方々との密接な連携のもと、安全で心の通った医療・保健・福祉サービスを提供し、患者さんや地域の皆さんから信頼され選ばれる病院を目指します。

「信頼され、選ばれる病院を目指して」

事前指示書

「もしもの時」

医療法人 正観会 御野場病院
院長 皆河 崇志

御野場病院では、入院するすべての患者さんに事前指示書である「もしもの時」を配布し、終末期医療の意思確認を行うことにしました。複数の病気を患っている高齢の患者さんが多い当院では、いつなごき患者さんの呼吸や心臓が止まるか分からないからです。医療者は、人命を救うことに全力を尽くすべきですが、重篤な病気や高齢により人生の終末期を迎えた患者さんに対しては、患者さんの意思（あるいはご家族が患者さんの意思を推し測った結果）を尊重し、患者さんができるだけ穏やかな死を迎えられるように配慮すべきだと思います。

「もしもの時」の選択肢は、①できるだけ救命、延命をしてほしい、②苦痛をやわらげる処置なら希望する、③なるべく自然な状態で見守ってほしい、の三項目です。この指示書を提示すると、療養病床に入院する患者さんの多くは②か③を選択します。「できるだけ救命、延命をしてほしい」を選択した場合は、救命、延命行為がどのようなものか具体的に説明することになっています。説明する機会はまだ10回程しかありませんが、説明後、ほとんどの患者さん（ご家族）が「苦痛をやわらげる処置なら希望する」に変更しました。現在の救命行為はガイドラインにより標準化されており、救急隊を含む医療関係者はガイドラインに沿った教育を受けています。心臓マッサージは1分間に100回以上、かつ深さ5cm以上胸骨の圧迫を繰り返す必要があります。高齢者ではろっ骨骨折は避けられません。そして、気管内挿管、人工呼吸器の装着と続きます。このような内容をお話しすると「そこまでは・・・」ということになり、「苦痛



をやわらげる処置なら希望する」を選択するのです。

「もしもの時」の発祥の地は、東京八王子市。八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会が、やんわりとした表現で終末期医療に関する事前指示の項目を設けた救急医療情報を各家庭に配布したのが始まりです。任意ではあるものの、患者さんやご家族に終末期医療について考えてもらうきっかけになることを期待したそうです。救急車で患者さんを搬送する際には、「もしもの時」を確認しながら搬送先を決めています。この結果、終末期高齢者の急性期病院への搬送はかなり減少したそうです。慢性期病院、施設、そして自宅での看取りが増えた結果だと推察しています。

当院では、回復期リハビリ病棟に入院する患者さんに対しても例外なく「もしもの時」を配布し、終末期医療の意思確認を行っています。回復過程にある患者さんであっても、終末期医療について考えていただくきっかけになればと考えています。

より自然で無理のない終末期と看取りの環境を整備するために、秋田市でも終末期医療に関する共通の事前指示書を作成し、医療機関、介護施設、各家庭に配布してはどうでしょうか。50年前までは当たり前であった高齢者の自然な死が、いつの間にか「最後まで救命・延命」の医療によって失われてしまいました。そろそろ、考え直す時期がきているのだと思います。



外 来 診 療



■診療科目／内科、リハビリテーション、泌尿器科



■診療担当医表

		月	火	水	木	金
午前	内 科	寺田邦彦	三浦莊治 金谷有子	皆河崇志	三浦莊治 金谷有子	寺田邦彦
	泌尿器科	三浦邦夫		三浦邦夫		
午後	内 科	鎌田 誠		寺田(第1・3・5) 市原利晃(第2・4)	皆河崇志	
	リハビリ・内科		小林佳美			三浦忠俊

出張などにより、担当医が変更になる場合がございます。
指定の医師をご希望の場合は、事前にお問合せください。

■診療時間

	午 前	午 後
月 ~ 金	9時～12時	1時30分～3時

※午前の受付は11時30分までをお願いします。

■休診日

毎週土曜・日曜、祝祭日、年末年始

在宅サービスのご案内

当院では、病気や障害を持ちながらも、住み慣れたご自宅でご家族に囲まれ、安心して療養や治療をしたいと考えている方の為のサービスを備えています。

訪問診療

お身体が不自由で通院が難しい方、寝たきりの方、退院後のケアが必要な方のために、医師が定期的かつ計画的にご自宅にうかがって診療を行います。突然の病状変化（発熱、腹痛など）の際には、臨時で往診にも対応致します。介護支援専門員（ケアマネジャー）をはじめとして、訪問看護ステーションやヘルパーステーションと連携してチームケアを実践しています。

御野場病院訪問リハビリテーション

理学療法士・作業療法士等がご自宅に訪問して、身体機能を評価した上で、主治医やケアマネジャー等と協力しながら、生活環境に合わせて、個別にリハビリテーションを行うことにより、心身機能及び生活機能の維持・向上を支援するサービスです。

御野場訪問看護ステーション

看護師が自宅を訪問し、主治医の指示や連携により、健康状態の観察や、看護される方々の相談、診療の補助などを行います。24時間、緊急時の連絡・訪問体制も整えております。

御野場病院通所リハビリテーション

当院内にある、専門の機材を揃えた通所リハビリテーション室に短時間（1時間半程度）通っていただき、医師・理学療法士・作業療法士等の専門スタッフの指導のもとにリハビリテーションを行うことにより、心身機能及び生活機能の維持・向上を支援するサービスです。近隣地域であれば送迎対応も可能です。





御野場病院デイサービスセンター

デイサービスセンターに通っていたとき、入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練や口腔機能向上サービスなどを日帰りで提供します。機能訓練については、当院の理学療法士等が、その方の身体機能を評価した上で、個別訓練プログラムを作成しております。

御野場病院介護支援センター

要介護認定などの各種申請や介護サービスを利用する際に、窓口となる事業所です。ケアマネジャーがご本人・ご家族の意向や状況をお伺いしながら、適切なサービスを受けられるように、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、提供事業者と連絡・調整致します。病院機能を活用して、医師や専門職からのアドバイスも受けながら、ご自宅での生活をサポートしております。なお、ケアプラン作成にご利用者負担はありません。

御野場ホームヘルプステーション

訪問介護員（ホームヘルパー）がご自宅に訪問し、介護や日常生活のお世話をするサービスです。食事・外出・排泄・入浴などの【身体介護】と、調理・掃除・洗濯・買い物などの生活に関わる【生活援助】があります。病院機能を活用し、医師や看護師などの専門職からも適宜助言を受けながら対応しています。



五月雨と五月晴れ

日中の気温が20度を越えるようになり、沖縄地方では梅雨入りが発表され、そろそろ暑い夏の訪れを感じる季節となりました。今年の夏は関東地方で平年より暑い夏になりそうで、東北地方では平年並みの暑さとなる見込みのようです。梅雨入りは平年より遅く、東北地方の雨量は多めの予想でした。もうすぐ夏が来ますね。個人的には暑い夏はあまり得意ではありませんが、イベント事もたくさんありますので、楽しみにしています。

ところで、五月雨・五月晴れという言葉がありますが、意味はご存知でしょうか。5月と書いてありますので、5月に降る雨、5月の晴れと捉えられるかもしれませんが、五月雨・五月晴れの5月は、旧暦の5月ですので、現在でいうところの6月を指しています。したがって、五月雨は梅雨時期の途切れながらも長く続く雨のことを、五月晴れは五月雨の合間に見られる晴れを表す言葉です。

しかしながら、5月という言葉通り5月中の晴れ間を想像するほうが考えやすいというように、その言葉の捉え方が変わってくるということもあるようです。言葉の意味は時代によって変化していくものであるという考え方があり、本来間違っって使ってしまったような言葉でも、使う人があまりに増えていくと意味そのものが変化して行くようです。

時代の移り変わりによって、伝統や文化が守られていくことも大切なことですが、現代を生きている私達に合わせて変化していき、よりよいものとして進化していくことも大切なことだと思う今日この頃です。

■流星群情報

7月は流星群観測シーズン！

7月12日～8月19日 水瓶座流星群(極大日:7月28日) 1時間に約5個程度の流星数

7月3日～8月15日 やぎ座流星群(極大日:7月31日) 7時間に約2個程度の流星数

7月17日～8月24日 ペルセウス座流星(極大日:7月13日) 1時間に約40個程度の流星数

※流星電波観測国際プロジェクトより

辞令交付式



新年度を迎え、辞令交付式が行われました。今年度は、各部署計14名が新規採用され、昇任辞令交付も同時に行われました。新規採用職員とともに、安全・信頼・連携・地域密着の理

念の下、全職員が協力して、患者さんと地域の皆さんに安全で信頼される医療とケアの提供に努めます。本年度もよろしくお願ひ致します。

栄養科より



当院では偶数月に入院患者さんに手作りおやつを提供しています。

今月は『雁月(がんづき)』。『雁月』は、岩手県や宮城県を中心に食べられているおやつです。丸く蒸された『がんづき』の上に散らばる黒ゴマを、月と雁の姿になぞらえて『雁月』と呼ぶようになったそうです。より手作り感を出すために、パッケージも工夫しました。患者さんは「懐かしい、昔よく食べた」と話して下さり、多くの方が喜んでくれました。

毎月第4木曜日のランチデーでは『お花見』をテーマにし、色とりどりのおかずと、菜の花と桜の塩漬けを混ぜ込んだ『春ごはん』を提供しました。

当日は天気も晴れ、気分も良いせいか、いつもより食がすすむ患者さんもいました。外の桜は散り始め～葉桜となってしまうりましたが、病棟ではおいしそうに食事を食べている患者さんの笑顔が満開でした。



おいしい!
がんづき

春ごはん

「お花見」を
テーマに
ランチ